

怪竜大決戦 (1966)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 特撮

製作国 日本

色彩 Color

時間 85分

初公開日 1966/12/21

【解説】

家老によって城主である父を殺された雷丸は、飛騨の墓道人に助け出され、忍術を教わる。しかし墓道人もかつての弟子・大蛇丸によって殺されてしまう。大蛇丸は雷丸の父を殺した男でもあった。雷丸は二人の仇を討つため、自雷也と名を変えて旅に出る。

当時の怪獣ブームを受け、忍者ものに怪獣映画の要素を加えた冒険活劇で、『大忍術映画 ワタリ』から『仮面の忍者 赤影』へ連なる作品の橋渡しを担っているとも言える。大友柳太朗が『ワタリ』に続いて悪役を演じた。城のミニチュアの出来は特筆に値する。なお、本作の巨大ガマは後に『赤影』の千年墓に流用された。

【クレジット】

監督 山内鉄也

製作 大川博

企画 岡田茂

新海竹介

脚本 伊上勝

撮影 わし尾元也

美術 矢田精治

編集 神田忠男

音楽 津島利章

出演 松方弘樹 雷丸／児雷也

小川知子 網手

大友柳太朗 大蛇丸

天津敏 結城大乘

金子信雄 墓道人

原泉 蜘蛛婆

原健策 善兵衛

鈴木由美 お咲

岩村隆男 小四郎太

千葉敏郎 百々兵衛